

# 1. 町内老人世帯への見回り・声かけ・食事会へのお誘い活動

グループ名；地域住民支援の会

代表者名；谷 博

## 1. 活動目的

平岸地域は赤平市が石炭の町として栄えた頃は、炭鉱労働者の居住地として多くの人が生活をし、保育所・小学校・中学校もありまた、商店・飲食店もあり活気に満ちていました。炭鉱も大小合わせると28鉱ありましたが、平成5年赤平市にあった炭鉱は全て閉山し、人口も年々減少の一途を余儀なくされています。

現在では、保育所・小中学校も市内の学校に併合され、子供たちが遊び回っている姿も見られなくなっています。平成27年8月31日の赤平市人口は、11,151人となっており、平岸町内の人口は1,000人弱と聞いております。

当平岸地域は赤平市内でも特に高齢化率が高く、老人世帯・独居老人も多いことから日常生活支援・一声運動・更に見回りを行う要望が町内会から上がり、何とか平岸地域で組織的な取り組みが出来ないか、有志に相談しこの組織の設立となりました。

設立は、平成21年5月13日であります。

## 2. 活動の概要

① 平岸町内にある病院・商店・連合町内会及び児童民生委員などで、町内の老人宅の見回りと一声掛ける運動を始め、日常生活で困っている様子はないか、寒くなる前にしておくことはないのか（除雪・外出・簡単な修理など）、声を掛けて見る運動などが定期的実施されており、家族が来た時には町内会長宅にお礼に来ることも何回もありました。

この地域は降雪量も多く除雪車のはねた雪は硬く重いので、若い人でも大変な作業になります。一人暮らしの世帯の場合は特に見回りが大切で、屋根の雪にも注意を払わないと、出入りも出来なくなるし家も危険な状況になってしまう。屋根から下ろした雪の排雪も大きな作業になっています。

そして何よりもお年寄りが楽しみにしているのは食事会（秋の食事会は子供が春から育ててきたサツマイモの料理を一緒に頂く）で、普段行き来が出来なくて電話で「元気だったかい」位しか会話がなかったので、車いす生活になった方々もみんなこの食事会を楽しみに待っていてくれます。簡単なゲームでも上手く行くと拍手と大声で歓声を上げています。同時に血圧測定も看護師さんの協力全員が受け、更に心配事相談コーナーには、前述した事柄の相談・ストーヴのチェックをして欲し

い・通院時の送迎についての相談をしたり、皆さん大いに活用されています。

- ② 振り込め詐欺被害者にならないための、注意喚起リーフレット（A4判ラミネート仕上げ）120枚を作り（市内で趣味として漫画を書く方が居てその方に依頼し作成）老人世帯と高齢者宅全戸に配布し、電話の傍に置いて貰いました。これからは、インフルエンザ予防パンフレットを作成し、配布したいと準備しています。

3. 今後この活動への取り組みについての問題点として。

現在の活動は、町内会の役員が中心になって、見回り・一声運動を行っているが積雪季になると、役員も高齢者が多く除雪は難しくなることと、外出・買い物・通院などの要請が多くなる事が予想される。また一方で平岸病院の施設・車両の提供・人的支援の下で、この事業が成り立っていると云っても過言ではない状況から、益々地域のニーズは高まって来ることが予想される。今後この地域に若い人が増える要素は全く見えていません。

4. 最後に。

当会の発足当時、手分けして町内老人宅を訪問した際、中から声はするが玄関ドアを開けて貰えない。「息子から絶対開けてはならん」と注意されているから・・・そんな時赤平広報に、地域ボランティア活動に助成金が出ることを見て、早速申請し・ヒヤリングも受けて助成金の交付を受け、見回り時と地域活動時に着用するジャケット（背中に、みまわり隊・平岸）にしました。長く活用出来ると思います。これなら安心してドアも開けてもらえると思われました。現在も活用しています。

5. 決算報告

収入			
	大同生命厚生事業団助成金		100,000
支出	①振り込め詐欺防止リーフレット作成費	24,000	
	②食事会3回		
	26.10.11.		
	27.6.27.		
	9.27.		
	高齢者延参加数72名	119,082	
	総参加者延数102名		
	収入・支出合計	143,082	100,000
	差し引き合計	-43,082	

※ 支出オーバーについては、今後の活動の中で吸収して参ります。

6. 活動中の写真を添付致します。





お金の話が出てきたら...

**赤歌警察署 32-0110**

または警察総合相談電話「#9110」  
国民生活センター消費者ホットライン0570-064-370へお電話を！

